

【広島市消費者物価指数】

1 平成24年5月の動向

- 広島市総合指数（100.2）は前月比で2か月連続の下落。前年同月比は同水準。
- 生鮮食品を除く総合指数（100.3）は前月比で下落。前年同月比は下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（99.5）は前月比で下落。前年同月比は9か月連続の下落。

2 総合指数，生鮮食品を除く総合指数，食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	100.2	▲0.3	0.0
生鮮食品を除く総合指数	100.3	▲0.1	▲0.2
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	99.5	▲0.1	▲0.4

3 前月からの動き

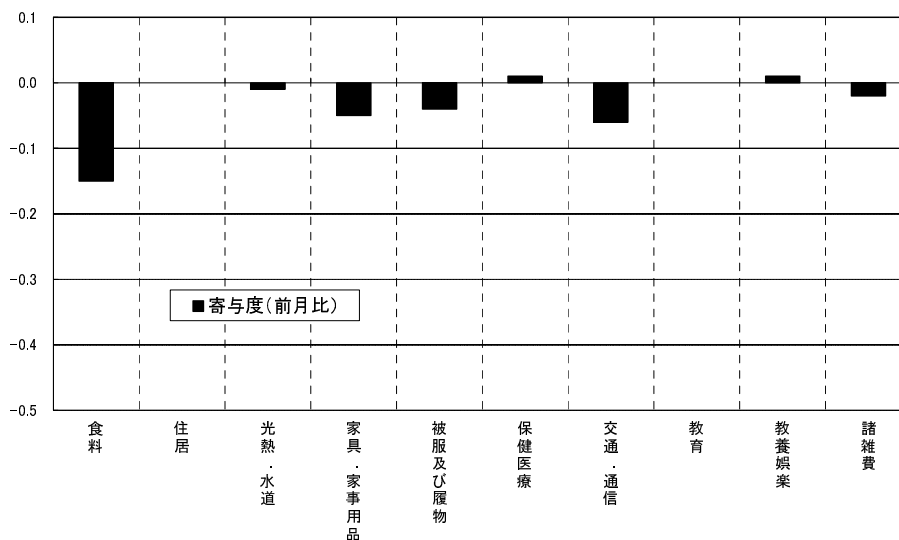
～教養娯楽，保健医療は上昇，食料，交通・通信は下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	100.2	99.4	99.2	105.5	99.7	102.0	99.2	101.8	98.4	97.0	103.1
前月比 (%)	▲ 0.3	▲ 0.6	0.0	▲ 0.1	▲ 1.3	▲ 0.9	0.3	▲ 0.4	0.0	0.1	▲ 0.3
寄与度	▲ 0.3	▲ 0.15	0.00	▲ 0.01	▲ 0.05	▲ 0.04	0.01	▲ 0.06	0.00	0.01	▲ 0.02

(参考) 主な要因となっている10大費目について，寄与の大きかった中分類項目
 教 養 娯 楽：教養娯楽サービス（前月比 0.3%，寄与度 0.02）等
 食 料：野 菜 ・ 海 藻（前月比 ▲5.9%，寄与度 ▲0.16）等
 交 通 ・ 通 信：自 動 車 等 関 係 費（前月比 ▲0.7%，寄与度 ▲0.06）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に，各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来，寄与度の合計は，総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが，四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
項 目（主な品目名）	前月比	項 目（主な品目名）	前月比
調理食品（うなぎかば焼き 等）	1.4%	野菜・海藻（たまねぎ 等）	▲5.9%
果物（すいか 等）	3.2%	自動車等関係費（ガソリン 等）	▲0.7%
肉類（ソーセージ 等）	1.2%	菓子類（ケーキ 等）	▲2.3%
教養娯楽サービス（宿泊料 等）	0.3%	履物類（男子靴 等）	▲5.1%
医薬品・健康保持用摂取品（サプリメント 等）	0.7%	魚介類（かれい 等）	▲1.4%

4 前年同月からの動き

～光熱・水道が上昇し、被服及び履物、保健医療が下落。～

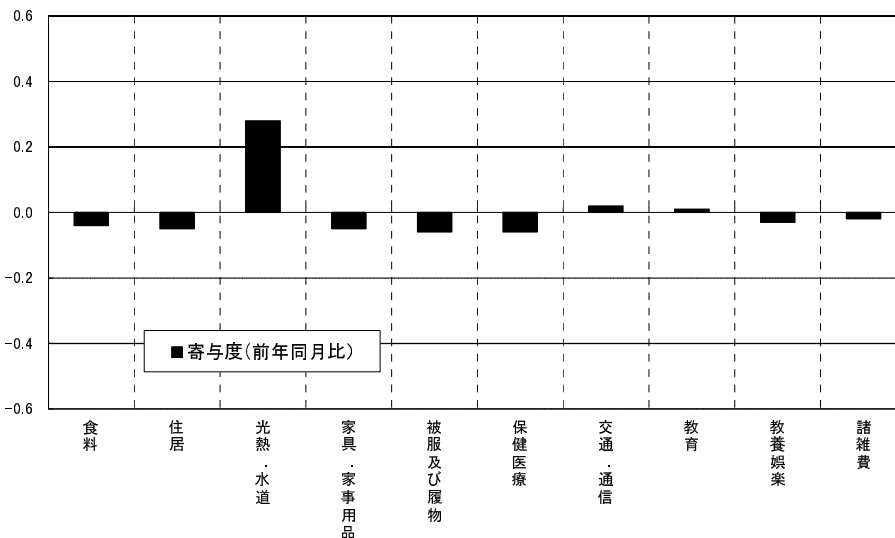
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	0.0	▲ 0.2	▲ 0.3	3.6	▲ 1.3	▲ 1.3	▲ 1.3	0.2	0.2	▲ 0.3	▲ 0.3
寄与度	0.0	▲ 0.04	▲ 0.05	0.28	▲ 0.05	▲ 0.06	▲ 0.06	0.02	0.01	▲ 0.03	▲ 0.02

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

- 光熱・水道：電 気 代（前年同月比 5.0%，寄与度 0.18）等
- 被服及び履物：シャツ・セーター類（前年同月比 ▲5.0%，寄与度 ▲0.05）等
- 保 健 医 療：医薬品・健康保持用摂取品（前年同月比 ▲3.1%，寄与度 ▲0.05）等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
費 目（主な品目名）	前年同月比	費 目（主な品目名）	前年同月比
電気代（電気代 等）	5.0%	家庭用耐久財（電気冷蔵庫 等）	▲5.3%
ガス代（都市ガス代 等）	4.6%	肉類（牛肉[国産品] 等）	▲3.6%
野菜・海藻（トマト 等）	3.3%	家賃（持家の帰属家賃 等）	▲0.5%
自動車等関係費（自動車等保険料[任意] 等）	0.9%	油脂・調味料（食用油 等）	▲5.1%
穀類（うるち米 等）	3.0%	通信（携帯電話機 等）	▲1.4%